るとともに、授業進行の前提である。

特に講義・演習科目においては、十分な自習時間を確保することが望まれる。

経済学科　２０１６年度以降入学生

Ⅱ．卒業所要単位

経済学部経済学科を卒業して学士（経済学）の学位を得るためには、**４年以上（最長８年）在学し、下記に定めた各科目区分の単位数をすべて修得して**、合計124単位以上を修得しなければならない。なお、４年次は学期を問わず、４単位以上を修得する必要がある（留級した場合は通算して４単位以上）。

以上の条件を満たせるもので、**９月卒業を希望する場合は、４月末日までに申請が必要となる**。

(1) 基礎教育科目（入門ゼミ）＝４単位
(2) 外国語科目＝12単位
　第一外国語６単位＋第二外国語６単位
(3) 保健体育科目（スポーツ総合）＝２単位
(4) 総合教育科目 ≧ 26 単位
(5) 専門教育科目の合計 ≧ 76 単位
(6) 専門教育科目のうち必修科目 ＝４単位
(7) 専門教育科目のうち１年次配当の選択必修科目 ≧ 12 単位
(8) 専門教育科目のうち２年次配当の選択必修科目 ≧ 12 単位
(9) 専門教育科目のうち３・４年次配当の自分野選択必修科目 ≧ ８単位
(10) 専門教育科目のうち選択必修科目の合計 ≧ 32 単位
(11) 専門教育科目のうち必修科目＋選択必修科目＋選択科目 ≧ 60 単位
(12) 外国語科目＋保健体育科目＋総合教育科目＋専門教育科目 ≧ 120 単位

〔経済学科 2016年度以降入学生 卒業所要単位表〕

<table>
<tr><th>科目区分</th><th>区　　分</th><th colspan="4">卒業に必要な単位</th></tr>
<tr><td>基礎教育科目</td><td>入門ゼミ</td><td colspan="3">必　　修　　４単位</td><td>４
単位</td></tr>
<tr><td rowspan="3">外国語科目</td><td>第一外国語</td><td colspan="3">必　　修　　６単位</td><td rowspan="15">120
単位
以上</td></tr>
<tr><td>第二外国語</td><td colspan="3">必　　修　　６単位</td></tr>
<tr><td>選択科目</td><td colspan="3">自由選択</td></tr>
<tr><td rowspan="2">保健体育科目</td><td>スポーツ総合</td><td colspan="3">必　　修　　２単位</td></tr>
<tr><td>スポーツ種目</td><td colspan="3">自由選択</td></tr>
<tr><td>総合教育科目</td><td></td><td colspan="3">選択必修　　26単位以上</td></tr>
<tr><td rowspan="8">専門教育科目</td><td>必修科目</td><td colspan="2">４単位</td><td rowspan="7">60単位
以上</td><td rowspan="8">76単位
以上</td></tr>
<tr><td>選択必修科目
(1年次配当科目)</td><td>12単位以上</td><td rowspan="4">32単位
以上</td></tr>
<tr><td>選択必修科目
(2年次配当科目)</td><td>12単位以上</td></tr>
<tr><td>選択必修科目
(3・4年次配当自分野)</td><td>８単位以上</td></tr>
<tr><td>選択必修科目
(3・4年次配当他分野)</td><td></td></tr>
<tr><td>選択科目</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>自由科目</td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td colspan="2">卒 業 所 要 単 位 合 計</td><td colspan="3">124単位以上</td></tr>
</table>

※外国語科目＋保健体育科目＋総合教育科目＋専門教育科目の単位数を合算しても116単位にしかならないことに注意。120単位を満たすためには、外国語科目、保健体育科目、総合教育科目、専門教育科目の区分で最低単位数以上の履修が必要になる。

Ⅵ. 科目履修基準

１．各年次の科目履修基準

	外国語科目	保健体育科目	総合教育科目	基礎教育科目	専門教育科目				教職・資格科目	
					必修科目	選択必修科目	選択科目	自由科目	教職科目	※1資格科目
1年次生	11～14ページ参照	スポーツ総合A/B	16ページ参照	入門ゼミA/B	経済学入門A/B	26ページ参照				
	８科目・８単位	２　単　位	10　単　位	４　単　位	４単位	12単位			10単位	

40単位制限内で登録

※2加算10単位

64単位以内で登録

	外国語科目	保健体育科目	総合教育科目	基礎教育科目	専門教育科目				再履修科目	教職・資格科目	
					必修科目	選択必修科目	選択科目	自由科目		教職科目	※1資格科目
2年次生	11～14ページ参照								１年次配当単位の未修得単位分について左記の単位に加算して履修できる。		
	４科目・４単位								加算８単位		

40単位制限内で登録

加算24単位

64単位以内で登録

	外国語科目	保健体育科目	総合教育科目	基礎教育科目	専門教育科目				再履修科目	教職・資格科目	
					必修科目	選択必修科目	選択科目	自由科目		教職科目	※1資格科目
3年次生									１・２年次配当単位の未修得単位分について左記の単位に加算して履修できる。		
									加算８単位		

40単位制限内で登録

加算24単位

64単位以内で登録

	外国語科目	保健体育科目	総合教育科目	基礎教育科目	専門教育科目				再履修科目	教職・資格科目	
					必修科目	選択必修科目	選択科目	自由科目		教職科目	※1資格科目
4年次生	※3４単位以上・40単位以内で登録								加算８単位		
	※464単位以内で登録										

※1 資格科目は、各年次６４単位以内で履修できる。
※2 １年次には教職科目を最高履修単位に１０単位まで加算して履修できる。
※3 ４年次では卒業所要単位に含まれる単位を４単位以上修得しなければならない（留級した場合は通算して４単位以上）。
※4 ４年次の教職科目については、各々履修単位に上限を設けていないため、４年次の最高履修単位に２４単位を加算した範囲で履修することができる。

〔各授業科目の単位数〕

各授業科目の単位数は、１単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、算定している（学則第23条）。この場合の学修の時間には、正規の授業時間の他に教室外の授業時間等も含まれている。

従って、大学の教育においては教室授業と自習が車の両輪の関係にあるといえる。教科書や参考書を読むなど授業に備えて自ら行う学習は、学生の本来的な義務であるとともに、授業進行の前提である。

特に講義・演習科目においては、十分な自習時間を確保することが望まれる。

国際経済学科　２０１６年度入学生

Ⅱ．卒業所要単位

経済学部国際経済学科を卒業して学士（経済学）の学位を得るためには、**４年以上（最長８年）在学し、下記に定めた各科目区分の単位数をすべて修得して**、合計124単位以上を修得しなければならない。なお、4年次は学期を問わず、４単位以上を修得する必要がある（留級した場合は通算して４単位以上）。

以上の条件を満たせるもので、**９月卒業を希望する場合は、４月末日までに申請が必要となる。**

(1) 基礎教育科目（入門ゼミ）＝４単位
(2) 外国語科目＝20単位
　第一外国語 12 単位＋第二外国語６単位＋選択必修科目 2 単位
(3) 保健体育科目（スポーツ総合）＝２単位
(4) 総合教育科目 ≧ 24 単位
(5) 専門教育科目の合計 ≧ 70単位
(6) 専門教育科目のうち必修科目 ＝４単位
(7) 専門教育科目のうち選択必修科目 ≧ 20単位
(8) 専門教育科目のうち必修科目＋選択必修科目＋選択科目 ≧ 62単位
(9) 外国語科目＋保健体育科目＋総合教育科目＋専門教育科目 ≧ 120単位

〔国際経済学科 2016年度以降入学生 卒業所要単位表〕

<table>
<tr><th>科目区分</th><th>区　分</th><th colspan="3">卒業に必要な単位</th><th></th></tr>
<tr><td>基礎教育科目</td><td>入　門　ゼ　ミ</td><td colspan="3">必　修　　４単位</td><td>4
単位</td></tr>
<tr><td rowspan="3">外国語科目</td><td>第一外国語</td><td colspan="3">必　修　　12単位</td><td rowspan="8">120
単位
以上</td></tr>
<tr><td>第二外国語</td><td colspan="3">必　修　　６単位</td></tr>
<tr><td>選択必修科目</td><td colspan="3">選択必修　　２単位</td></tr>
<tr><td rowspan="2">保健体育科目</td><td>スポーツ総合</td><td colspan="3">必　修　　２単位</td></tr>
<tr><td>スポーツ種目</td><td colspan="3">自由選択</td></tr>
<tr><td>総合教育科目</td><td></td><td colspan="3">選択必修　　24単位以上</td></tr>
<tr><td rowspan="4">専門教育科目</td><td>必修科目</td><td>４単位</td><td rowspan="3">62単位以上</td><td rowspan="4">70単位以上</td></tr>
<tr><td>選択必修科目</td><td>20単位以上</td></tr>
<tr><td>選択科目</td><td></td></tr>
<tr><td>自由科目</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">卒業所要単位合計</td><td colspan="3">124単位以上</td></tr>
</table>

※外国語科目＋保健体育科目＋総合教育科目＋専門教育科目の単位数を合算しても116単位にしかならないことに注意。120単位を満たすためには、外国語科目、保健体育科目、総合教育科目、専門教育科目の区分で最低単位数以上の履修が必要になる。

Ⅵ. 科目履修基準

１．各年次の科目履修基準

	外国語科目	保健体育科目	総合教育科目	基礎教育科目	専門教育科目				教職・資格科目	
					必修科目	選択必修科目	選択科目	自由科目	教職科目	※1資格科目
1年次生	65～69ページ参照	スポーツ総合A/B	71ページ参照	入門ゼミA/B	英語で学ぶ経済学入門A/B	78ページ参照				
	１０科目・１０単位	２　単　位	８　単　位	４　単　位	４単位	12単位			10単位	

40単位制限内で登録

※2加算10単位

64単位以内で登録

	外国語科目	保健体育科目	総合教育科目	基礎教育科目	専門教育科目				再履修科目	教職・資格科目	
					必修科目	選択必修科目	選択科目	自由科目		教職科目	※1資格科目
2年次生	63～67ページ参照								１年次配当単位の未修得単位分について左記の単位に加算して履修できる。		
	８科目・８単位								加算８単位		

40単位制限内で登録

加算24単位

64単位以内で登録

	外国語科目	保健体育科目	総合教育科目	基礎教育科目	専門教育科目				再履修科目	教職・資格科目	
					必修科目	選択必修科目	選択科目	自由科目		教職科目	※1資格科目
3年次生	63～67ページ参照								１・２年次配当単位の未修得単位分について左記の単位に加算して履修できる。		
	２単位								加算８単位		

40単位制限内で登録

加算24単位

64単位以内で登録

	外国語科目	保健体育科目	総合教育科目	基礎教育科目	専門教育科目				再履修科目	教職・資格科目	
					必修科目	選択必修科目	選択科目	自由科目		教職科目	※1資格科目
4年次生	※3４単位以上・40単位以内で登録								加算８単位		
	※464単位以内で登録										

※1 資格科目は、各年次６４単位以内で履修できる。
※2 １年次には教職科目を最高履修単位に１０単位まで加算して履修できる。
※3 ４年次では卒業所要単位に含まれる単位を４単位以上修得しなければならない（留級した場合は通算して４単位以上）。
※4 ４年次の教職科目については、各々履修単位に上限を設けていないため、４年次の最高履修単位に２４単位を加算した範囲で履修することができる。

現代ビジネス学科　２０１６年度以降入学生

Ⅱ．卒業所要単位

経済学部現代ビジネス学科を卒業して学士（経済学）の学位を得るためには、**４年以上（最長８年）在学し、下記に定めた各科目区分の単位数をすべて修得して、**合計124単位以上を修得しなければならない。なお、４年次は学期を問わず、４単位以上を修得する必要がある（留級した場合は通算して４単位以上）。

以上の条件を満たせるもので、**９月卒業を希望する場合は、４月末日までに申請が必要となる。**

(1) 基礎教育科目（入門ゼミ）＝４単位
(2) 外国語科目＝12単位
　第一外国語６単位＋第二外国語６単位
(3) 保健体育科目（スポーツ総合）＝２単位
(4) 総合教育科目 ≧ 22 単位
(5) 専門教育科目の合計 ≧ 80単位
(6) 専門教育科目のうち必修科目 ＝４単位
(7) 専門教育科目のうち選択必修科目 ≧ 24単位
(8) 専門教育科目のうち必修科目＋選択必修科目＋選択科目 ≧ 66単位
(9) 外国語科目＋保健体育科目＋総合教育科目＋専門教育科目 ≧ 120単位

〔現代ビジネス学科 2016年度以降入学生 卒業所要単位表〕

<table>
<tr><th>科目区分</th><th>区　分</th><th colspan="3">卒業に必要な単位</th><th></th></tr>
<tr><td>基礎教育科目</td><td>入　門　ゼ　ミ</td><td colspan="3">必　修　　4単位</td><td>4
単位</td></tr>
<tr><td rowspan="3">外国語科目</td><td>第一外国語</td><td colspan="3">必　修　　6単位</td><td rowspan="8">120
単位
以上</td></tr>
<tr><td>第二外国語</td><td colspan="3">必　修　　6単位</td></tr>
<tr><td>選　択　科　目</td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td rowspan="2">保健体育科目</td><td>スポーツ総合</td><td colspan="3">必　修　　2単位</td></tr>
<tr><td>スポーツ種目</td><td colspan="3">自由選択</td></tr>
<tr><td>総合教育科目</td><td></td><td colspan="3">選択必修　　22単位以上</td></tr>
<tr><td rowspan="4">専門教育科目</td><td>必　修　科　目</td><td>4単位</td><td rowspan="3">66単位以上</td><td rowspan="4">80単位以上</td></tr>
<tr><td>選択必修科目</td><td>24単位以上</td></tr>
<tr><td>選　択　科　目</td><td></td></tr>
<tr><td>自　由　科　目</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">卒業所要単位合計</td><td colspan="3">124単位以上</td></tr>
</table>

※外国語科目＋保健体育科目＋総合教育科目＋専門教育科目の単位数を合算しても116単位にしかならないことに注意。120単位を満たすためには、外国語科目、保健体育科目、総合教育科目、専門教育科目の区分で最低単位数以上の履修が必要になる。

Ⅵ．科目履修基準

１．各年次の科目履修基準

	外国語科目	保健体育科目	総合教育科目	基礎教育科目	専門教育科目				教職・資格科目	
					必修科目	選択必修科目	選択科目	自由科目	教職科目	※1資格科目
1年次生	115～118ページ参照	スポーツ総合A/B	120ページ参照	入門ゼミA/B	企業と経済・基礎A/B	126ページ参照				
	４科目・８単位	２　単　位	10　単　位	４　単　位	４単位	12単位			10単位	

40単位制限内で登録

※2加算10単位

64単位以内で登録

	外国語科目	保健体育科目	総合教育科目	基礎教育科目	専門教育科目				再履修科目	教職・資格科目	
					必修科目	選択必修科目	選択科目	自由科目		教職科目	※1資格科目
2年次生	115～118ページ参照								１年次配当単位の未修得単位分について左記の単位に加算して履修できる。		
	４科目・４単位								加算８単位		

40単位制限内で登録

加算24単位

64単位以内で登録

	外国語科目	保健体育科目	総合教育科目	基礎教育科目	専門教育科目				再履修科目	教職・資格科目	
					必修科目	選択必修科目	選択科目	自由科目		教職科目	※1資格科目
3年次生									１・２年次配当単位の未修得単位分について左記の単位に加算して履修できる。		
									加算８単位		

40単位制限内で登録

加算24単位

64単位以内で登録

	外国語科目	保健体育科目	総合教育科目	基礎教育科目	専門教育科目				再履修科目	教職・資格科目	
					必修科目	選択必修科目	選択科目	自由科目		教職科目	※1資格科目
4年次生	※3４単位以上・40単位以内で登録								加算８単位		
	※464単位以内で登録										

※1　資格科目は、各年次６４単位以内で履修できる。
※2　１年次には教職科目を最高履修単位に１０単位まで加算して履修できる。
※3　４年次では卒業所要単位に含まれる単位を４単位以上修得しなければならない（留級した場合は通算して４単位以上）。
※4　４年次の教職科目については、各々履修単位に上限を設けていないため、４年次の最高履修単位に２４単位を加算した範囲で履修することができる。